

舞台音響設備＝主調整卓（マイク入力24回路、ライン入力5回路）、マイクロフォン（32台）、レコードプレーヤー（2連）、テープレコーダー（2台）、マイクエレベーター装置（3台）、各種スピーカー等  
 その他の舞台設備＝緞帳2枚、絞り緞帳1枚、各種幕類、所作台、音響反射板、迫りあげ装置（大迫り、小迫り、オーケストラ迫り、花道スッポン）つり物16本、仮設能舞台1式、グランドピアノ（2台）  
 映写設備＝16mm映写機2台、映写用張込スクリーン

以上舞台設備については、大ホールの設備の概要を記載したが、小ホールにも規模は小さいが照明、音響、映写等の設備が整っている。

### 第3節 事業の実施状況

昭和53年度に財団法人福島県文化センターが実施した事業の概要は次のとおりである。

## 1 文化会館

事業名	実施期日	開催場所	事業内容	入場人員参加
福島県バレエフェスティバル	4月30日	いわき市平市民会館	出演＝県洋舞家協会会員団体17団体 400名 午後1公演	1,700人
福島県三曲演奏会	5月28日	県文化センター	出演＝県三曲連盟会員84名 午後1公演	1,500人
少年劇場	6月8日～17日	福島、二本松、郡山、白河、船引、会津若松、喜多方、相馬	出演＝劇団仲間、演目＝「石の花」 県内8市町で12公演	参加校72 児童数 12,266人
福島県吹奏楽トップコンサート	6月18日	県文化センター	出演＝県吹奏楽連盟の推せん団体12団体 560名 午後1公演	1,200人
親子劇場	7月2日	県文化センター	出演＝演劇センター飛行船 演目＝「せむしの子馬」 午前午後2公演	2,000人
福島県コーラスフェスティバル	7月15日	県文化センター	出演＝FMC混声合唱団 夜1公演	1,900人
ポリシヨイバレエ公演	8月9日	県文化センター	出演＝ポリシヨイバレエ団 演目＝「白鳥の湖」 演奏＝東京フィルハーモニー 夜1公演 FTV共催	1,900人
近代文学講演会	9月3日	県文化センター	講師＝小田切進氏 演題＝「文学の魅力」午後1公演	230人
古典文学講演会	9月24日	会津若松市公民館	講師＝庄司吉之助氏 演題＝「会津藤樹学とその思想」 " 阿部 秋生 " 「古典の読み方」 午後1公演	110人
松竹歌舞伎公演	10月14日	県文化センター	昭和53年度文化庁移動芸術祭 出演＝市川猿之助一座 演目＝奥州安達ヶ原ほか 1日2公演（昼夜）	1,900人
文化講座	年間	県文化センター 郡山中央公民館	NHKテレビ大学講座利用の講座 生物学、文学、法学、経済学、思想史等	参加者 208人
映画教室	一般向け5、7、9月 児童向夏休み中	県文化センター	文化映画、児童劇、漫画映画等 午後1回	延べ 900人
（県委託事業） 家庭劇場	6月、7月 9月、10月	県北、会津、 相双20町村	小編曲の音楽会「大庭照子と歌おう」「コリンズボークルアンサンブル」を県内20町村で実施	8,450人
地域文化 振興協力事業	年間	県 全 域	市町村教委、公民館、文化団体等が行う講座、教室講習会等に対して講師を派遣し協力する	3市2町 16回

## 2 美術博物館

事業名	実施期日	開催場所	事業内容	入場人員参加
渡部菊二展	5月6日～17日	県文化センター	収蔵作品、借用作品70点を展示	2,500人
	6月20日～25日	会津若松公民館		
院展福島展	10月13日～29日	県文化センター	院展同人、無鑑査、入賞作品等約80点の大作	9,866人
美術講座 陶芸コース	7月～9月	県文化センター	制作を通してそれぞれの技術を学び、制作の喜びを体得する。	参加者 79人
水彩画コース	8月3日～6日	"		
日本画コース	8月3日～6日	"		